

- 視床下部腹内側核ニューロンの摂食および化学物質に対する応答性. 第8回日本肥満学会総会, 1987, 11, 仙台.
- 53) 柴田良子, 小野武年, 中村清実, 西条寿夫: 視床下部室傍核ニューロンの発火様式と摂食行動への応答性. 第8回日本肥満学会総会, 1987, 11, 仙台.
- 54) 中村清実, 小野武年, 西条寿夫, 田村了以, 田淵英一: ラット視床下部外側野ニューロンの音弁別学習応答性に対する伝達物質の作用様式. 第11回神経科学学術集会, 1987, 12, 東京.
- 55) 田村了以, 小野武年, 西条寿夫, 田淵英一, 中村清実: サル海馬・海馬傍回ニューロンの学習行動応答性と分布様式. 第11回神経科学学術集会, 1987, 12, 東京.
- 56) 佐々木和男, 須田浩守, 渡辺裕司, 小野武年: 黒質ドーパミンニューロン活動を調節する手綱核経路の新しい帰還系. 第11回神経科学学術集会, 1987, 12, 東京.
- 57) 小野武年, 西野仁雄, 西条寿夫, 中村清実, 田村了以, 福田正治: ラットの情動行動と自律性反応の発現に關与する視床下部ニューロンの特性. 第11回神経科学学術集会, 1987, 12, 東京.
- 58) 西野仁雄, 小野武年, 柴田良子, 西条寿夫: 移植ドーパミン細胞の生着と回轉運動の経緯. 第11回神経科学学術集会, 1987, 12, 東京.
- 59) 柴田良子, 小野武年, 中村清実, 村本健一郎: ラットの本能行動と視床下部室傍核ニューロン活動. 第11回神経科学学術集会, 1987, 12, 東京.
- 60) 尾上浩隆, 上野隆司, 早石 修, 藤田一郎, 西野仁雄, 大村 裕: プロスタグランジン類の睡眠覚醒作用の分子構造特異性について. 第11回神経科学学術集会, 1987, 12, 東京.
- 61) 岡田英一郎, 大村 裕, 粟生修司, 高木厚司, 小山純正, 西野仁雄: 中脳中心灰白質刺激によるproceptive presentingの誘発. 第11回神経科学学術集会, 1987, 12, 東京.
- 62) 田村了以, 小野武年: ラット視床下部の学習行動に伴う血圧変動応答ニューロンの特性. 第15回自律神経生理研究会, 1987, 12, 東京.
- 63) 小野武年, 柴田良子: ラットの視床下部ニューロン活動と体液変化. 生理学研究所研究会, 1987, 12, 岡崎.
- 64) 西野仁雄, 柴田良子, 小野武年: 移植ラット副腎髄質細胞の成育と宿主尾状核神経細胞とのシナプス連絡. 第2回神経組織の成長・再生・移植研究会学術集会, 1987, 12, 東京.

- 65) 小野武年: 刺激意味の認知と扁桃体. 文部省科学研究費特定研究 可塑性神経回路第2回公開シンポジウム, 1987, 12, 東京.

#### ◆ その他

- 1) 小野武年: 編集後記. 日本生理学雑誌, 48, 74, 1987.
- 2) 小野武年: 第7回全ソ連邦「機能的システムについての一般理論の進歩」に関するセミナー出席. 昭和61年度内藤記念科学振興財団研究報告集, 207-209, 1987.
- 3) 小野武年: 編集後記. 日本生理学雑誌, 49, 617, 1987.

## 生 化 学 (1)

教 授 平 賀 紘 一  
助 教 授 山 本 雅 之  
文 部 事 務 官 高 道 恵 利 子

#### ◆ 著 書

- 1) 平賀紘一: タンパク質. 「現代の生化学」坪井昭三, 佐藤清美, 中島邦夫編, 13-38, 金原出版株式会社, 1987.
- 2) 山本雅之: ヘム生合成の調節. 「続生化学実験講座 8 血液 上」, 日本生化学会編, 390-406, 東京化学同人, 1987.

#### ◆ 原 著

Dodgson, J. B., Yamamoto, M., and Engel, J. D.: Chicken histone H 3.3 BcDNA sequence confirms unusual 3' UTR structure. Nucl. Acids Res. **15**: 6294, 1987.

#### ◆ 学会報告

- 1) 山本雅之, 平賀紘一: ニワトリ, グリシン開裂系H蛋白mRNAの構造と遺伝子のクローニング. 第5回日本生化学会北陸支部会, 1987, 5, 富山.
- 2) 石黒義久, 山本雅之, 平賀紘一: ニワトリ肝リポアミド脱水素酵素の多型性の解析. 第5回日本生化学会北陸支部会, 1987, 5, 富山.
- 3) Hiraga, K., Kure, S., Yamamoto, M., Tada, K., and Ishiguro, Y.: Cloning of cDNAs coding for the constituents of the glycine cleavage system from a human liver cDNA library. 4th International Congress of Inborn Errors of Metabolism, 1987, 5, Sendai.
- 4) 呉 繁夫, 山本雅之, 久米晃啓, 平賀紘一: 肝グリシン開裂系 glycine decarboxylase cDNA ク

- ローン化と非ケトーシス型高グリシン血症の遺伝子レベルでの解析. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 5) 石黒義久, 山本雅之, 平賀絃一: 鶏肝リポアミド脱水素酵素の多型性について. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 6) 山本雅之, 春木智江, 平賀絃一: ラット肝 ALA 合成酵素の cDNA クローニング. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 7) 平賀絃一, 呉 繁夫, 山本雅之, 石 黒義久: ヒトグリシン開裂系 H-蛋白 cDNA のクローン化. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- ◆ その他
- 1) 平賀絃一, 山本雅之, 呉 繁夫, 石黒義久, 久米晃啓: 高グリシン血症発症機構の解析. 昭和61年度文部省特定研究「先天性代謝病の病因解析と治療に関する研究」班研究業績集(班長北川照男). 1987, 3月.
- 2) Fiant, M., Yamamoto, M., and Engel J., D.: Rapid isolation of lambda DNA with lambdasorb phage adsorbent. *Promega Notes* **6**, 1987.

## 生 化 学 (2)

教 授	藤 岡 基 二
助 授	小 川 宏 文
助 手	五 味 知 治
助 手	古 西 清 司
文部技官	高 田 義 美

### ◆ 原 著

- 1) Ogawa H., Gomi T., Mueckler M. M., Fujioka M., Backlund P. S., Aksamit R. R., Unson C., and Cantoni G. L.: The amino acid sequence of S-adenosylhomocysteine hydrolase from rat liver as derived from the cDNA sequence. *Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A.* **84**: 719-723, 1987.
- 2) Ogawa H., Konishi K., Takata Y., Nakashima H., and Fujioka M.: Rat glycine methyltransferase. Complete amino acid sequence deduced from a cDNA clone and characterization of the genomic DNA. *Eur. J. Biochem.* **168**: 141-151, 1987.
- 3) Fujioka M., Takata Y., Konishi K. and Ogawa H.: Function and reactivity of sulfhydryl groups of rat liver glycine methyltransferase. *Biochemistry* **26**: 5696-5702, 1987.
- 4) Konishi K., and Fujioka M.: Chemical modification of a functional arginine residue of rat liver glycine methyltransferase. *Biochemistry* **26**: 8496-8502, 1987.
- 5) Konishi K., Adachi H., Kita K., and Horikoshi I.: Inhibitory effects of tannic acid on the respiratory chain of *Photobacterium phosphoreum*. *Chem. Pharm. Bull.* **35**: 1169-1175, 1987.
- 6) Adachi H., Konishi K., Toriizuka K. and Horikoshi I.: The *in vitro* effects of tannic acid on rat liver mitochondrial respiration and oxidative phosphorylation. *Chem. Pharm. Bull.* **35**: 1176-1182, 1987.
- 7) Konishi K., Adachi H. and Horikoshi I.: Indispensability of ubiquinone in the respiratory chain of *Photobacterium phosphoreum*. *Chem. Pharm. Bull.* **35**: 1531-1537, 1987.
- ◆ 学会報告
- 1) 小川宏文, 藤岡基二: ラットのグリシンメチル基転移植酵素遺伝子の分離と塩基配列. 第5回日本生化学会北陸支部大会, 1987, 5, 富山.
- 2) 高田義美, 藤岡基二: グリシンメチル基転移酵素システイン残基の 5'-p-fluorosulfonylbenzoyl adenosine による修飾. 第5回日本生化学会北陸支部大会, 1987, 5, 富山.
- 3) 古西清司, 藤岡基二: ラット肝グリシンメチルトランスフェラーゼの必須アルギニン残基の役割. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 4) 高田義美, 古西清司, 藤岡基二: ラット肝グリシンメチルトランスフェラーゼのシステイン残基の化学修飾. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 5) 小川宏文, 藤岡基二, 松田義宏, H. C. Pitot: ラット肝セリンデヒドラターゼ cDNA のクローニングとアミノ酸配列. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 6) 五味知治, 小川宏文, 藤岡基二, 伊達孝保: グアニド酢酸メチル基転移酵素 cDNA のクローニング, アミノ酸配列, ならびに大腸菌での発現. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.